



※進行役は広報広聴委員会の小林委員長と今野副委員長が務めました。

だきたいです。

市長 「グリーン購入」については、やっていきたいと思っています。今年度から市で購入するものは一覧を作成して取り組んでいます。

議長 ぜひ購入比率を公表して、市の意欲的な取組を示していただきたいと思います。

※グリーン購入とは環境への負荷ができるだけ少ない製品等を選んで購入することです。

交通安全対策

●交通事故を減らすために

―市長マニフェストでは交通安全対策を安心のまちの柱としている―

市長 市長に就任してから続けて予算化しています。昨年度は約2300万円を執行し、カーブミラーの設置や修理、路面標示の塗り直しや新規設置、通学路のグリーンベルト設置など各

種安全対策工事を行いました。信号機・横断歩道は市では勝手に※設置できないんです。

何より、一人ひとりが交通安全の意識を持つことが重要になります。

※信号機・横断歩道は、その都道府県の公安委員会が設置し管理することになっています。実際には、公安委員会から委任された県警察がその事務を行います。

●自転車ヘルメットの普及に向けて

―今年度、議会でも交通安全について意見を出し合った―

議長 6月議会で、自転車のヘルメット補助が予算化されたことから、交通事故を減らすためにできることについて議論しました。

市長 小学校卒業時の記念品をヘルメットにしてから数年経過しました。補助金については、今年度は65歳以上と小学生以下の方を対象にしました。まだ、予定した応募数に至っていません。

議長 議会改革推進会議内の交通安全対策プロジェクトチームでは、自転車乗車時のヘルメットの着用及び

自転車講習会等の学ぶ機会、SNS等を活用した周知の3件が有効ではないかと意見をまとめました。

市長 自転車乗車時のヘルメット着用は、今年から努力義務になったばかりです。シートベルトのような罰則もないので定着するにはまだ年数がかかると思います。普及へ努力を重ねます。

議長 ヘルメットの定着のために、補助対象の年齢拡大を、ご検討いただければと思います。

安心・安全なまちとは

市長 普通の生活が普通にできることが、安心で安全なまちであると考えています。いざ災害にあったときには、安心できることが一番です。地の利と人の利が重なることが大事です。

議長 車も人も、いつも「かもしれない」と考えていることが相手を思いやることにつながると思います。災害時も、共助があたりまえのまちなら、広報11月号のキャッチにあった「こちよいつるがしま」になるのではないのでしょうか。

大野議長

